

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第3回 大木中学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和7年9月29日(月) 18:00 ~ 20:00

2 場 所 会議室1

3 あいさつ(学校長、委員長)

(委員長)

・生徒通用門のグレーチング部分で、自転車通学の生徒が雨天時にすべったり、転んだりする。市教委に申し出たが、回答は小さなグレーチングの位置を変えますとのことでの解決にも繋がらなかった。

(学校長)

・学校生活の様子(部活動、各工事、定期テスト、避難訓練等)

団体、個人、吹奏楽、作文、ポスターで様々な賞を獲得した。

8/4 夏季学習会として、校区小中学校で集まって研修を行った。

9/19 公開授業を行った。11/21 に繋がっていく。

盗撮事案(他県)成績の書き換え(伊賀市)の事案について

・文化祭について【別紙】

10/29、30 に実施するので時間があれば来てもらいたい。

※今後の予定

10/1 校区校長会(大木中、長太小、箕田小、若松小)

10/2 1年社会見学(明治村)

10月各土日 鈴鹿地区中体連新人戦

10/29、30 大木中文化祭

10/31 地区補導

11/7 3年進路説明会 1年避難訓練

11/10 鈴鹿市中学校音楽会(3年2クラス) 2年職場体験学習

11/21 鈴鹿市教育研究会委託校(鈴教研) 大木中学校研究発表会

11/25 第4回学校運営協議会 2学期末テスト(~27)

4 学校からの報告等

(1) 教務主任から

・2年職場体験学習【別紙(9/29 配布)】

今年度、断られる事業所が増えている。理由としては、人手不足や感染症の心配が挙げられている。

(2) 研修主任から

- ・「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の取組【別紙】

課題が多い結果となった。

- ・鈴教研について【別紙】

11/21 研究発表で2年間の研究を発表する。

(委員から)「深い学び」が低いのは、課題に思う。

(3) 生徒指導主事から

- ・いじめアンケートより【別紙】

「あなたはやめるように言ったり、誰かに伝えたりすることができますか」の項目は比較的高い数字になった。インターネット上のトラブルは、起こっている。教育相談期間を6月に実施したが、11月にも実施する予定である。

(委員から)他県でのスマホ2時間のように、大木中学校として何か予定していることはあるか。

→11月に小中学校合同でメディアコントロールを行う予定

5 熟議事項

- ・大木中学校生について(各部の報告を受けて・・・)

【生徒通用門のグレーチングについて】

○グレーチングの件は、学校側は把握しているのか。対応策はどうするのか。

○市教委からは、最終的にどうにもならないと言われた。

○カーペットを敷く等の対策はできないか。

○若松地区はグレーチングが少なく箕田地区は多い。防災の関係もあり難しいのかもしれない。

○滑り止めについて、提案したが、市教委からは『混乱する』という回答であった。

○地域のことになると、自治会から議員になるのではないか。生徒への啓発は行う。

【全国学力・学習状況調査の結果について】

○家庭学習の時間が少ないのは、どうしてこうなのか。

○去年は、「平均より上」ばかりであった。隔年で凸凹している。小学校のときから家庭学習の時間は少ない。その部分は、現在の授業スタイルに取り組もうと考えたきっかけの一つでもある。学童へ通っている割合が高く、そこで宿題をやるため、家は勉強しない空間になっているのもあるようである。

○国語、数学くらいは毎週宿題を出してもよいのではないか。

○3年生は、5教科の教材を購入し、毎日朝10分間の学習を実施している。

- 徐々に変わってきている雰囲気を感じるが、この調査は4月時点のものである。
- 家で勉強しようにも難しくてできないのではないかと。できないのでやめよう、そこから遊ぼうになっているのではないかと。以前やっていた、学習ページ付きの連絡帳はなぜなくなったのか。
- 学校の授業を参観にいくと、Chromebook を使用しているときに生徒の集中が切れているように思う。教科書含め、紙の方が集中できるのではないかと。入力が多く、書く時間が少ない。
- 書かないといけないのではないかと。読んでいるだけでは書けない。
- ノート提出は現状どうなっているのか。
- 授業内容をプリントで学習させる機会が増えたので書かせることは減っている。
- これまでも学力調査の結果を見てきている。昔は業者テストもあり、保護者もある程度、自分の子の現状を把握できた。今は、それが分からない。保護者への意識付けもじゅうようなのではないかと。少ない人数に分けて授業していたこともあった。
- 少人数授業については、毎年要望はしているものの予算配当がない。
- 業者テストは、現在学校では行っていない。
- 今、Chat-GPT を活用している。今の生徒は、生まれたときから PC がある。書いて覚えるのが大切なのは分かるが、時代の変化を考えると先生方の変革を感じる。

【部活動の地域移行について】

- 部活動の見直しはどうか。
- 令和8年10月から土日の部活動は実施しない。中体連も新人大会は1日開催のみ。夏の大会は、上位大会までやる予定である。
- 若松小の地域クラブで準備委員会に参加している。
- 大木中学校の部活動は全員加入か。
- 全員加入ではない。
- 朝練習を行っている部活動はあるのか。
- 卓球男女、バスケット女子、吹奏楽は朝練習を行っている。

6 CS 推進コーディネーターより

家庭学習の調査は、『1時間』というのはかなりハードルが高いものである。全国と比較する使い方ではなく、家庭学習の意識付けにしていきたい。公開授業については、2年間の研究がどうだったのか委員のみなさんも見に行くのが良い。文化祭についても、文化的な取組を見に行くのが良い。部活動の地域移行も地域の受け皿を用意している話もあった。本日は、たくさんの論点で話し合いが行われた。次回は、これを整理して話し合いができると良い。

7 その他

(1) 次回の第4回学校運営協議会(校区合同学校運営協議会)

テーマ「こども権利条約、こどもの人権について」

鈴鹿市教育委員会 教育支援課 人権教育センター 原 裕先生

場所:大木中学校 会議室1

日時:令和7年 11 月 25日(火) 16時00分～ 17時15分

※今後の学校運営協議会

第4回(兼校区合同運営協議会) 11/25(火)

第5回 12/11(木) 学校関係者評価書作成について①

第6回 2/19(木) 学校関係者評価書作成について②

8 閉会挨拶(委員長)

第4回学校運営協議会は、11月25日(火) 16時より開催します